

『植物と人々の博物館』 vol.16

①「第18回 雑穀栽培講習会」ご案内

古くから栽培されてきたアワ、キビなど雑穀の在来品種の種まきを実習します。教えてくださるのは地元で伝統的な雑穀栽培をしてきた方々です。雑穀見本園は、小菅の湯近辺の畑に移動します。昨年までの畑が連作で少し疲れてきましたので・・・。



雑穀を紹介しながら、種まきをみんなで行います。



●日時：2015年5月9日(土)
11:30～16:30(現地集合・解散です)

●会場：山梨県北都留郡小菅村
植物と人々の博物館および雑穀見本園

●内容：雑穀栽培実技講習 栽培概要の解説
中川智氏、岡部良雄氏(雑穀栽培後術顧問)
雑穀の種播き作業をしながら、畑作に関わる伝統的な智慧のお話を伺います。

●参加費：1,000円程度の予定

●昼食は小菅の湯で食べましょう。

●締め切り：5月8日までに事務局までご連絡。

②源流祭りにおける展示の解説・講座

5月4日は小菅村の「第28回多摩源流まつり」を開催します。当日、植物と人々の博物館(小菅村中央公民館)では、木俣美樹男先生による、縁側講座を開催し、展示の解説もしますので、ぜひお越しください。

担当：木俣美樹男(植物と人々の博物館研究員)

※当日の博物館スタッフを募集中です～！！

③「第36回環境学習セミナー」開催

現在、小菅村のミュージアム研究会で検討を進めているのが以下の2つです。

- ・「トランジション・タウン」への検討
- ・「日本で最も美しい村」連合への検討

これらについては、11月14～15日に「第36回環境学習セミナー」を予定しています。話題提供者をお招きしたセミナーを開催しますので、関心のある方はぜひご参加ください。

「トランジション・タウン」とは：トランジション・タウンとは、ピークオイルと気候変動という危機を受け、市民の創意と工夫、および地域の資源を最大限に活用しながら脱石油型社会へ移行していくための草の根運動です。パーマカルチャーおよび自然建築の講師をしていたイギリス人のロブ・ホブキンスが、2005年秋、イギリス南部デボン州の小さな町トットネスで立ち上げ、3年足らずの間にイギリス全土はもちろんのこと、欧州各国、北南米、オセアニア、そして日本と世界中に広がっています。(HPより)

「日本で最も美しい村」連合とは：
通称、美しい村連合は、2005年に7つの町村からスタートしました。当時は、いわゆる平成の大合併として市町村合併が促進され、小さくても素晴らしい地域資源や美しい景観を持つ村の存続が難しくなって来た時期にありました。私たちは、フランスの素朴な美しい村を厳選し紹介する「フランスの最も美しい村」運動に範をとり、失ったら二度と取り戻せない日本の農山漁村の景観・文化を守りつつ、最も美しい村としての自立を目指す運動をはじめました。(HPより)